

ピレリスーパー耐久シリーズ 2020 第3戦 スーパー耐久3時間レース in 岡山

2020年10月31日(土)
岡山国際サーキット(岡山県)
入場者数: 10月31日 2,100人



完走という目標をチーム一丸で達成
未来へ向け大きな手ごたえを得る

FREE PRACTICE

チームの記念すべきデビュー戦となった第2戦 SUGO では、専有走行でまさかのクラッシュ。大きなダメージを負ったこともあり、残念ながら予選への出走が叶わなかったKTMS 86。とはいえ、このレースウィークで得た悔しさと、得がたい経験からくるチームワークとともに、野中誠太、平良響、翁長実希という3人の若き才能たちは第3戦の舞台となる岡山国際サーキットへ乗り込んだ。

今回も10月29日(木)の特別スポーツ走行から周回を重ねたKTMS 86は、修復を経たマシンをチェックしつつ、走行

2日目となる10月30日(金)の3本の専有走行に臨んだ。

晴天のもと迎えた午前8時からの専有走行1本目では、まずは野中からコースイン。平良、翁長と交代する。続く2本目では、翁長の習熟のためひとりでステアリングを握り、終盤には1分47秒014までタイムを上げることに成功する。気温も急速に下がりつつあった3本目では、野中、翁長、平良と交代しながら周回。トップ3には食い込めていないものの、上位陣との戦える手ごたえを得ながら、まずは初日を締めくくることができた。



10/30 STEL 専有走行1回目 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Time	Laps
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	1'43.579	10/22
2	13	ENDLESS 86	1'43.750	5/18
3	310	GRGarage 水戸インター GR86	1'43.989	12/28
4	225	KTMS 86	1'44.510	5/25
5	18	Weds Sport 86	1'45.098	6/26

10/30 STEL 専有走行2回目 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Time	Laps
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	1'44.397	3/26
2	310	GRGarage 水戸インター GR86	1'44.611	4/26
3	13	ENDLESS 86	1'44.615	13/28
6	225	KTMS 86	1'47.014	28/29

10/30 STEL 専有走行3回目 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Time	Laps
1	310	GRGarage 水戸インター GR86	1'43.249	5/26
2	60	全業工業アルージェインテグラ	1'44.123	2/23
3	884	林テレンプ SHADE RACING 86	1'44.592	5/23
6	225	KTMS 86	1'46.674	5/25

QUALIFY

迎えた10月31日(土)の岡山国際サーキットは、朝から爽やかな晴天に恵まれた。午前8時から行われた Gr.2 の予選で、KTMS 86 はまずAドライバーの野中が乗り込みアタックを展開していく。まずは1分44秒台から43秒台、さらに7周目には1分42秒999ヘタイムを上げ、3番手につけてみせる。

続いて午前8時25分にスタートしたB

ドライバー予選では、平良がドライブ。こちらも1分44秒台から6周目には1分43秒126ヘタイムを上げ、こちらも3番手に。KTMS 86 は今季はじめての予選で4番手につけることに成功した。

ふたりの活躍に続きC/Dドライバー予選では翁長が乗り込み、こちらも1分47秒045というタイムで着実に6番手につけ、公式予選を締めくくった。



10/31 第3戦岡山公式予選 ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Combined	A Driver	B Driver
1	310	GRGarage 水戸インター GR86	3'25.486	1'42.646	1'42.840
2	884	林テレンプ SHADE RACING 86	3'25.583	1'42.416	1'43.167
3	13	ENDLESS 86	3'25.895	1'43.340	1'42.555
4	225	KTMS 86	3'26.125	1'42.999	1'43.126
5	60	全業工業アルージェインテグラ	3'27.376	1'43.759	1'43.617

RACE



公式予選を終え、午後1時30分から迎えた決勝レース。いよいよ KTMS 86 にとっての初めてのレースだ。スタートドライバーを務めた野中は、スタート直後 ST-4 クラスの上位3台のマシンの競り合いの後方からしっかりと1周目を終える。

序盤からトップ3は激しいレースを展開していくが、動きがあったのは9周目。2番手の #310 86 と3番手の #13 86 が1コーナーで接触し、#310 86 がグラベルにストップしてしまったのだ。その横を駆け抜けた野中は3番手に浮上する。

ただ、激戦の ST-4 でトップを走る #884 86 や2番手の #13 86 のペースは非常に良い。野中は少しずつギャップを離されてしまうことになるが、とはいえ KTMS 86 の今回のレースは、まずは3

人のドライバーがしっかりと繋ぎ、上位入賞を目指すというもの。野中は目標へ向けミスなく、ペースを守り前を追った。

途中、44周目にはヘアピンコーナーでのパーツ処理のためにフルコースイエロー (FCY) が導入されるが、これはすぐ解除される。するとその直後、KTMS 86 はピットへ向かい、最初のドライバー交代を行った。野中に代わって KTMS 86 に乗り込んだのは翁長だ。

直前にはトップを走っていた #884 86 もピットインしているが、この日の ST-4 クラス上位陣はタイヤ無交換作戦を敢行していた。ただ、KTMS 86 はここで四輪交換を行った。まだ参戦2戦目であり、無交換でレースを展開するには不安もあった。また、先述のとおり今回はしっかりと走りきることが重要だった。この間に、早めにピット作業を行い、タイヤ無交換作戦を採っていた #19 86 に先行されてしまっていたが、しっかりと4番手を守ってコースに復帰した。

タイヤ交換を行った KTMS 86 を駆る翁長は、着実にペースを上げ1分46秒台をマーク。16周をしっかりと走りきると再度ピットに向かい、ふたたび四輪交

換。今度は平良に交代した。レース終盤になると、ST-5 クラスを中心にコースアウトやアクシデントも起きはじめ、79周目には2コーナーでのアクシデントによりふたたび FCY が導入された。

そんなレースのなか、平良は終盤まで1分45秒台と、上位陣と変わらぬタイムをマークし、少しずつ3番手を走る #19 86 との差を詰めはじめた。ただ、午後4時30分、夕日が差すなかチェッカーを迎えることになり、KTMS 86 は初レースを4位で締めくくった。

惜しくも表彰台には届かなかったが、それでも KTMS 86 を修復し、目標の完走をしっかりと果たすことができた。完走を喜び合うスタッフの笑顔が、目標達成とさらなる飛躍の予感を印象づけた。



DRIVER'S VOICE

野中誠太 SEITA NONAKA

「まずはこうして、土曜の予選、決勝をトラブルなく終わることができてホッとしています。予選でもあのタイムを出せたのは良かったと思いますし、スピードの面ではトップ3にも負けていないと感じられました。またレースでも、序盤先輩方の走りを間近で見て、たくさんのことを吸収できました。タイヤのグリップが落ちてからのペースには課題もありますが、レース全体としてはまとめることができたと思います。今回は完走が目標で余裕がある戦略でしたが、表彰台も見えていたので悔しい気持ちもあります。今後さらに成長することができるチームだと感じることができました」



平良響 HIBIKI TAIRA

「レースではユーズドタイヤでのスピードの差が上位陣とはまだあり、表彰台やトップ争いに食い込むことはできませんでしたが、チーム全体として第一の目標であった完走を果たすことができて、ホッとしています。公式予選では、あとコンマ5秒ほど詰めることができればトップも見えていたので、スーパー耐久の走りにも対応することができたと思っています。またレースでも1分45秒のラップで安定して走ることができたので、満足しています。次戦は自分が得意なツインリンクもてぎでのレースなので、チームの皆さんと協力して良い結果を残せるようにしたいと思います」



翁長実希 MIKI ONAGA

「3位表彰台が見えていたので、『こうすれば良かったな』と思うところもたくさんありますが、まず第一に、皆さんのご協力もあってこうして完走することができて、本当に感動しています。スタッフの皆さんも本当に頑張ってくださいましたし、すごく感謝しています。今回は走行時間もそこまで多くはなく、前回のクラッシュからドライビングで迷う部分もあったのですが、しっかりと自分のドライビングを見つけることもできましたし、次に繋がるレースになりました。今後、表彰台や優勝に届くための数多くの課題も見出せましたし、実りの多いレースになったと思っています」



10/31 第3戦岡山 Gr.2 決勝レース ST-4 結果

Pos.	No.	Car Name	Laps	Time	Diff.
1	884	林テレンプ SHADE RACING 86	100	3h00'26.842	
2	13	ENDLESS 86	100	3h00'29.658	2.816
3	18	Weds Sport 86	99	3h01'02.354	1 Lap
4	225	KTMS 86	99	3h01'24.630	1 Lap
5	310	GRGarage 水戸インター GR86	98	3h01'38.390	2 Laps

